

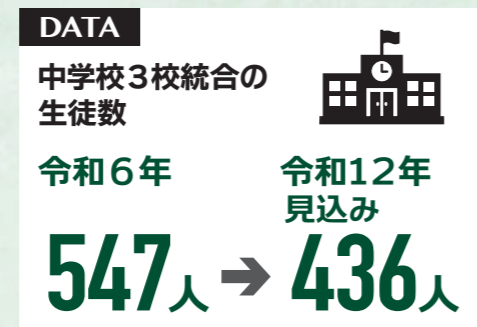
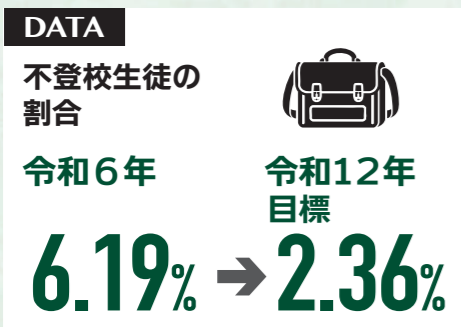


7つの基本目標 ②

豊かな心をはぐくむまち

〈教育・文化の振興〉

総合振興計画P.38
第3編 第2章「豊かな心をはぐくむまち」



地域スポーツクラブ等との連携により、教員の長時間労働の解決と部活動の選択肢の確保を期待します。

小川高校との連携



学校、地域社会、保護者の役割が見直されている。町の未来を託す子どもたちに、私たちは何ができるのか。学校が担ってきた部活動を地域との協力で充実を図る。

「急げ 地域と学校の連携」

適正な環境の整備を望む

Q 小学校教育に向けた整備等は、令和9年度の開校に向けて、中学校の施設を小学校として安全に使用できるよう改修を図ります。中学校にはない花壇（学校ファーム）の整備をはじめ、階段の転落防止や、外廊下へのフェンスの設置を予定しています。また、グラウンドも小学校仕様に変更し、遊具の整備を行っていきます。

心と体の成長と達成感を

Q 部活動の地域展開について、新年度の動きは、

A 既に実施しているサッカー部のほか、陸上競技部やバスケットボール部等も段階的に休日の地域展開を予定しています。小川中学校を拠点に、公共施設や小川高校を活用する考えです。学校教育への造詣が深く、学校と地域クラブの調整力に長け、生徒を第一に考えている方をコーディネーターに人選します。



Gikai's eye

グラウンドの狭さは課題

学校再編により部活動の数は維持できる見通し。複数の部活動が利用可能なグラウンドの拡張や休日の活動場所等、今後の工夫改善に期待。



高橋文明さん(大関町)

早く

やりたい部活がなく、競技を辞めてしまう子どももいます。一刻も早い地域との連携を強く望みます。

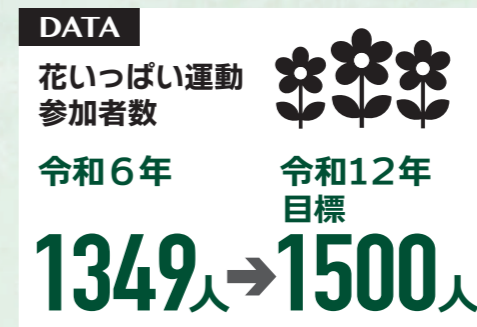
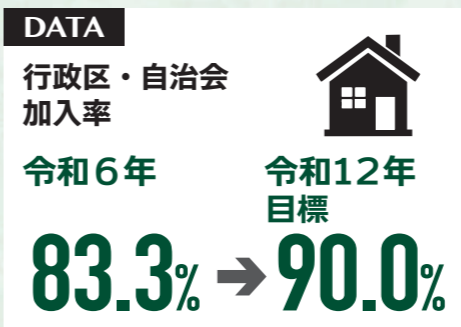


7つの基本目標 ①

人が輝くまち

〈参加と協働の推進〉

総合振興計画P.28
第3編 第1章「人が輝くまち」



現在は、5つの町内会が協力をして、毎年1屋台を出しています。屋台の保存ができるよう議論していくことが大切だと感じています。

令和4年の七夕まつり

町民が共に支え合う町に

Q 事業内容は、

A 現在、少子高齢化や地域コミュニティの希薄化、ライフスタイルの変化に伴い、区長の成り手不足や加入率の低下といった課題が顕在化しています。この課題解決に当たり、行政区の再編を希望する地域間の協議を促進・支援するため、令和8年度から新たに創設しました。

再編に向けた協議を行うために、1会計年度当たり5万円を構成する行政区の数に乘じた額を交付し、十分な話し合いができる環境を整えます。交付期間は、協議会を開始した年度とその翌年度の最大2年間とします。

Q 今後の具体的な手続と流れは、

A 区長会で周知します。再編を希望する2つ以上の行政区から「町に申し出↓規約の作成↓協議会の設置」を経て、交付金の申請を行います。

行政区再編事業交付金(10万円)



Gikai's eye

“行政の関わり”がカギ

10年前から行政区の維持が不安視されていたが、具体的な一歩が踏み出された。「共創」のもと、行政と町民双方からの積極的な関わりが不可欠。



下川原友一さん(仲町)

担い手

世帯数が減少する中で、一番の問題は高齢化に伴う役員の成り手不足と町内行事の担い手不足です。



令和5年度に実施した「区の運営合併に関するアンケート」で62行政区の約半数から「再編が必要」との回答が出た。行政区間の話し合いがよいよいよ始まる。

「つながろう 地域コミュニティ」